



実施計画

令和2年(2020年)4月

北海道



目次

第1章 開催概要

1. 全国育樹祭の目的	4
2. 開催方針	4
3. 大会テーマ	6
4. シンボルマーク	6
5. ポスター原画	6
6. 開催概要	7
7. 開催会場	9

第2章 式典行事計画

1. 基本的な考え方	1 1
2. 式典行事の概要	1 1
3. メインアトラクション	1 3
4. 式典会場整備	1 4
5. おもてなし広場	2 2

第3章 お手入れ行事計画

1. 基本的な考え方	2 6
2. お手入れ行事の概要	2 6
3. お手入れ会場整備	2 9

第4章 育樹等行事計画

1. 基本的な考え方	3 4
2. 育樹等行事（圏域木育フェスタ）の概要	3 5

第5章 レセプション計画

1. 基本的な考え方	4 5
2. レセプションの概要	4 5

※ ホームページに掲載している本計画は、一部のページを省略しています。
ご了承ください。



目次

第6章 併催行事計画

- | | |
|------------------|-----|
| 1. 育林交流集会 | 4 7 |
| 2. 全国緑の少年団活動発表大会 | 4 8 |

第7章 記念行事計画

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. 森林・林業・環境機械展示実演会 | 5 1 |
| 2. その他の記念行事 | 5 2 |

第8章 運営計画

- | | |
|-----------------|-----|
| 1. 基本的な考え方 | 5 4 |
| 2. 実施本部計画 | 5 4 |
| 3. 緊急対応計画 | 5 4 |
| 4. 参加者行動計画 | 5 5 |
| 5. 受付計画 | 5 7 |
| 6. 宿泊・輸送計画 | 6 1 |
| 7. 式典参加者計画 | 6 2 |
| 8. 警衛・警護計画 | 6 3 |
| 9. 救護・衛生計画 | 6 3 |
| 10. 消防・防災計画 | 6 4 |
| 11. 昼食計画 | 6 4 |
| 12. 大会用品等配布計画 | 6 5 |
| 13. リハーサル計画 | 6 6 |
| 14. 雨天・荒天時等対応計画 | 6 7 |

第9章 広報・協賛計画

- | | |
|------------|-----|
| 1. 基本的な考え方 | 6 9 |
| 2. 広報・P R | 6 9 |
| 3. 記録 | 6 9 |
| 4. 協賛 | 7 0 |

第10章 開催準備計画

- | | |
|-------------|-----|
| 1. 開催スケジュール | 7 2 |
|-------------|-----|

※ ホームページに掲載している本計画は、一部のページを省略しています。
ご了承ください。

第1章

開催概要

第44回
全国育樹祭 北海道
2020



第1章 開催概要

1. 全国育樹祭の目的

全国育樹祭は、過去の全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植え・お手播きされた樹木の皇族殿下によるお手入れや、参加者による育樹活動等などを通じて、国民の森林に対する愛情を培うことを目的とした国民的なシンボル行事で、昭和52年以来、毎年秋期に開催されています。

2. 開催方針

森林は、水を蓄え、豊かな生態系を育み、自然災害から守るなど、私たちの暮らしや生活に欠かすことのできない大きな存在です。そして私たちは、先人たちが植え、育てた森の恵みとして、木材を住宅や家具、食器、遊具などの生活の一部に利用してきました。そのため、その森に再び木を植え、育て、次代の子どもたちに引き継いでいかなければなりません。

北海道は、その森林が私たちにもたらす恩恵や、木の持つ優しさ・温もりに触れ親しむことを通じて豊かな心を育む取組「木育」の発祥の地で、これまで、「北海道植樹祭」をはじめ、市町村、漁業協同組合などの多様な主体による植樹・育樹活動など、道民との協働による森林づくりが進められてきたほか、森林や木と触れ合う様々な木育イベントなどの普及の取組を行ってきました。

全国育樹祭は、枝打ち、施肥等の育樹活動やその普及啓発活動を通じて継続して森を守り育てていくことの大切さを伝える行事で、北海道が進める木育の理念にも合致し、本道での開催は、その木育の取組を加速させるものです。また、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた関連施設への積極的な木材利用が注目されており、これと併せ、木の良さや価値を発信する絶好の機会となるものです。

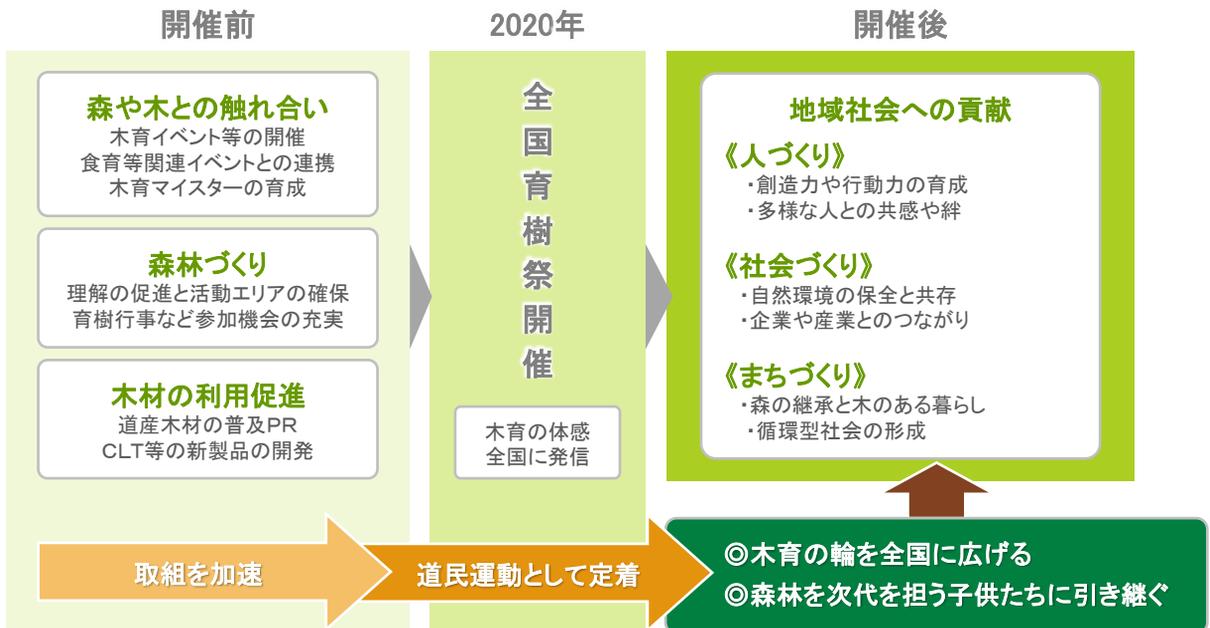
このため、木育の取組を道民一人ひとりに浸透し、道民運動として定着させていく。そして、木の良さや価値はもちろん、豊かな自然や景観、歴史や文化、新鮮でおいしい道産食品など、本道の魅力をおもてなしの心で伝え、全国に広く発信していくことを目指すこととし、環境や教育のほか食育など幅広い関連行事等と連携しながら、より多くの方々に森や木と触れ合う機会を創出するほか、開催後においても、全道各地で育樹活動や木育イベントなどの取組が継続され、全国へと取組の輪を広げていく契機となる大会とします。





第1章 開催概要

全国育樹祭の開催を契機とした木育等の展開



本道における過去の全国緑化行事開催概要

第58回全国植樹祭(H19)

道内では46年ぶり2回目となった第58回全国植樹祭は、平成19年(2007年)6月24日に「明日へ 未来へ 北の大地の森づくり」を大会テーマとして、苫小牧市宇静川(苫小牧東部地域)において開催され、天皇皇后両陛下によるアカエゾマツやミズナラなどのお手植えのほか、全国から集った約1万人の方々の手によって、約2万本の苗木が植えられました。



第12回全国植樹祭(S36)

開催日：昭和36年(1961年)5月24日
会場：支笏湖畔(モーラップ地区)
大会テーマ：積雪寒冷地の拡大造林と屋敷林の造成

第11回全国育樹祭(S62)

開催日：昭和62年(1987年)9月13日～14日
会場：支笏湖畔、野幌森林公園
大会テーマ：植えた夢 つないで育てて 森づくり



第1章 開催概要

3. 大会テーマ

つなごう未来へ この木 この森 この緑

いけなが かずひろ

作者：池永 一広 さん（大阪府高槻市）

【講評】

植えた木が育樹活動を通して大きく育っていく時の流れが感じられる作品で、一本の木や森、そして緑を育む心の大切さがうまく表現されています。

多くの人に語りかけていくメッセージとして、豊かな北海道らしい森や緑を未来（次世代の子供たち）にバトンタッチしていく力強さが感じられます。

4. シンボルマーク

しおざき えいいち

作者：塩崎 榮一 さん（大阪府大阪市）



【講評】

北海道の地形と、北海道らしい豊かな森林をモチーフとした、優しい笑顔の少年が描かれた作品です。

右手で力強く育樹活動を行い、育てた森や緑を育む心を、大きく伸ばした左手で未来につないでいこうとする姿は、大会テーマとの相性も良く、森林に対する愛情が感じられます。

5. ポスター原画

おおみち

作者：大道 ひな さん（深川市立深川中学校3年/応募時）



【講評】

働く元となる人の手で双葉を育てる構図や色の調和も優れており、太い幹や緻密に描かれた小さな葉は、ポスターにした時に明るく、力強く感じられる作品です。

光が象徴的で、未来につながるイメージは、大会テーマとの相性も良く、育樹祭の開催気運を盛り上げるポスターとしてふさわしいと言えます。



第1章 開催概要

6. 開催概要

全国育樹祭行事

- 主催：北海道、（公社）国土緑化推進機構
※育樹等行事は、全道各地の多様な主体が主催

【式典行事】

- 開催日 令和2年(2020年)10月4日(日)午前
- 会場 北海道立総合体育センター〈北海きたえーる〉(札幌市豊平区)
- 内容 皇族殿下のおことば、緑化功労者等の表彰、緑の少年団活動発表、メインアトラクション、大会宣言など
- 参加者 約5,000人

【お手入れ行事】

- 開催日 令和2年(2020年)10月3日(土)午後
- 会場 苫東・和みの森(苫小牧市字静川) ※第58回全国植樹祭開催地
- 内容 皇族殿下による天皇皇后両陛下お手植え樹木のお手入れ
- 参加者 約300人

【育樹等行事(圏域木育フェスタ)】

- 開催期間 令和元年(2019年)10月の「育樹月間」をスタートに令和2年(2020年)秋期まで
- 会場 全道各地(6圏域を基本の単位として実施)
- 内容 より多くの道民が身近な場所で木育を体感できるよう、森林づくりや木とふれあうイベントを開催

□ 道央圏域木育フェスタ	[空知、石狩、後志、胆振、日高(総合)振興局管内]
□ 道南圏域木育フェスタ	[渡島、檜山(総合)振興局管内]
□ 道北圏域木育フェスタ	[上川、留萌、宗谷(総合)振興局管内]
□ オホーツク圏域木育フェスタ	[オホーツク総合振興局管内]
□ 十勝圏域木育フェスタ	[十勝総合振興局管内]
□ 釧路・根室圏域木育フェスタ	[釧路、根室(総合)振興局管内]

【レセプション】

- 開催日 令和2年(2020年)10月3日(土)夜
- 会場 ニューオータニイン札幌(札幌市中央区)
- 内容 皇族殿下の御臨席を仰ぎ、全国育樹祭での各種表彰者に祝意を表する場として開催
- 参加者 約400人



第1章 開催概要

併催行事

【育林交流集会】

- 主催 北海道、(公社)国土緑化推進機構
- 開催日 令和2年(2020年)10月3日(土) 13:00～16:00(予定)
- 会場 共済ホール(札幌市中央区)
- 内容 森林づくりや林業の成長産業化等をテーマとした基調講演、活動事例報告など
- 参加者 約400人

【全国緑の少年団活動発表大会】

- 主催 北海道、(公社)国土緑化推進機構
- 開催日 令和2年(2020年)10月3日(土) 12:00～15:00(予定)
- 会場 北海道大学 高等教育推進機構大講堂(札幌市北区)
- 内容 道内及び全国から選出された緑の少年団による日頃の活動状況発表や情報交換など
- 参加者 約400人

記念行事

【森林・林業・環境機械展示実演会】

- 主催 北海道、(一社)林業機械化協会
- 開催日 令和2年(2020年)10月4日(日) 9:00～16:30(予定)
5日(月) 9:00～15:00(予定)
- 会場 苫小牧東部地域(苫小牧市字柏原6-187)
- 内容 全国の林業機械メーカー等による最新林業機械等の展示・実演など
- 参加者 約15,000人

【その他の記念行事】

「北海道・木育フェスタ」など北海道が実施する植樹祭等の緑化イベントや環境関連行事等のほか、市町村や関係団体等が実施するイベント等と連携し、開催気運醸成のための取組を進めます。

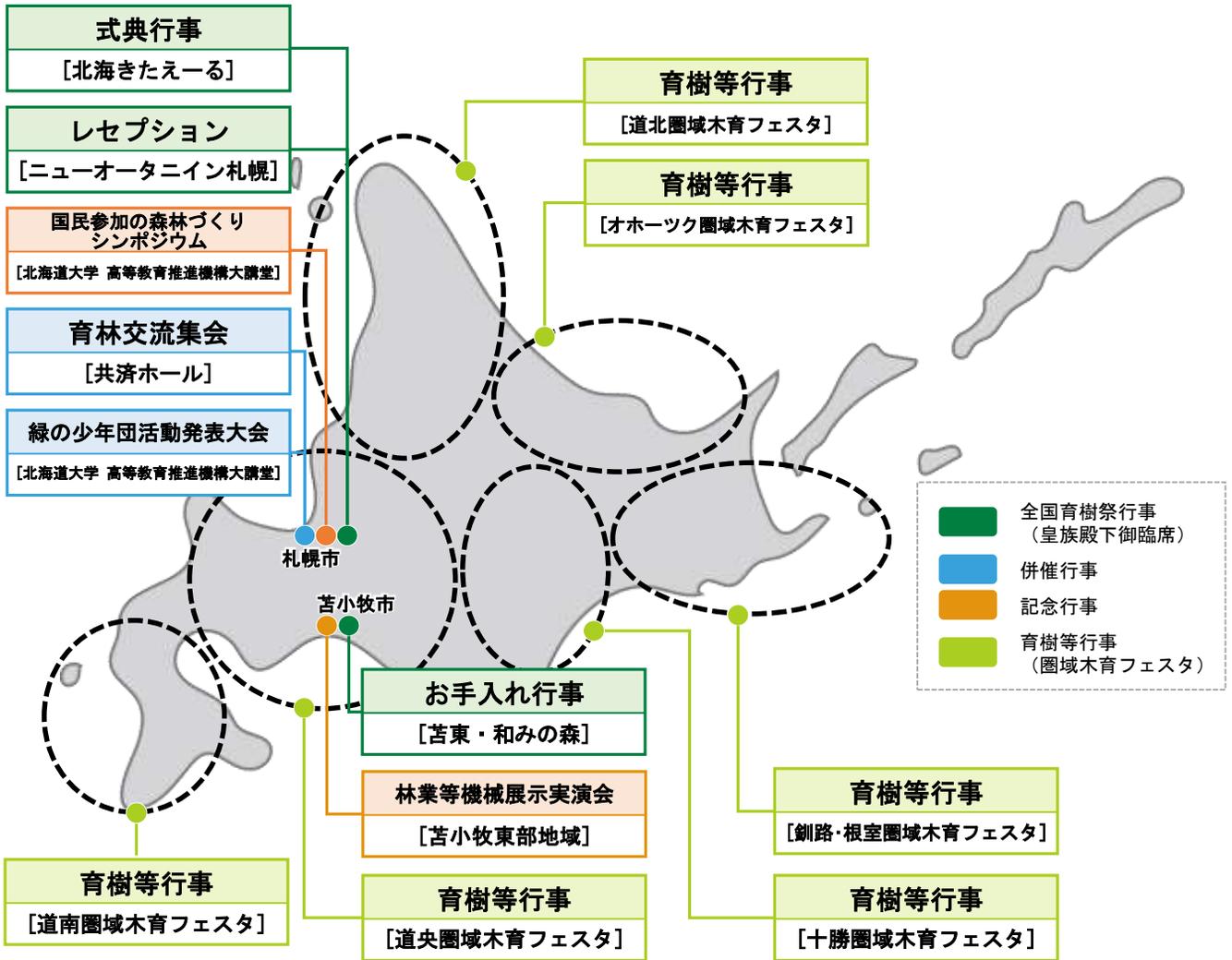
〈「北海道・木育フェスタ2020」第71回北海道植樹祭〉

- 主催 北海道、北海道森林管理局、(公社)北海道森と緑の会
- 開催日 令和2年(2020年)5月9日(土) ※北海道植樹の日
- 会場 野幌森林公園
 - ・式典・催事会場：北海道開拓の村(札幌市厚別区)
 - ・植樹会場：道有林(江別市)



第1章 開催概要

7. 開催会場



■ 行事日程のイメージ

令和元年 (2019)	令和2年 (2020)			秋期
	10月			
	3日 (土)	4日 (日)	5日 (月)	
国民参加の森林づくりシンポジウム(10/12) 育樹月間 10月 スタート	お手入れ行事 レセプション 育林交流集会 全国緑の少年団活動発表大会	式典行事 森林・林業・環境機械展示実演会		
	育樹等行事 (圏域木育フェスタ) 令和元年(2019)10月~令和2年(2020)秋期まで			

第2章

式典行事計画

第44回
全国育樹祭 北海道
2020



第2章 式典行事計画

1. 基本的な考え方

式典行事は、第44回全国育樹祭の大会テーマ「つなごう未来へ この木 この森 この緑」に込められた思いを参加者に分かりやすく伝えるとともに、多くの参加者に北海道の「木育」を体感してもらい、その意義を全国に発信します。

また、簡素化を図りながらも、厳粛で品格のある行事とすることとし、参加者の記憶に残る北海道らしいメインアトラクションを企画するほか、新鮮でおいしい道産食品等を堪能できるおもてなし広場を設け、森林・林業関係者、緑の少年団、一般公募者など、幅広い方々が全国から参加できる行事とします。

2. 式典行事の概要

- (1) 開催日：令和2年(2020年)10月4日(日)午前
- (2) 会場：北海道立総合体育センター〈北海きたえーる〉（札幌市豊平区）
- (3) 参加者：約5,000人

【内訳】

区分	人数	内訳
中央・道外参加者	約1,000人	中央推薦、各都府県知事推薦等
道内参加者	約2,500人	実行委員会長選考、各市町村長推薦、一般公募※等
出演者・運営スタッフ	約1,500人	出演団体、式典音楽隊、実施本部員等
合計	約5,000人	

※一般公募は、道内のみならず幅広く募集を行います



北海道立総合体育センター〈北海きたえーる〉



会場MAP



第2章 式典行事計画

(4) 次第

次第	内容/登壇者・出演者等（予定含む）
▼プロローグ	
オープニングアトラクション	<p>～ようこそ北の大地、北海道へ！～ ご来場への感謝を伝える歓迎のパフォーマンス <北海道の魅力の紹介> 自然、文化、農業・漁業などの産業、食や観光を映像で紹介 <ウエルカムパフォーマンス> 躍動感あるパフォーマンスで来場者への歓迎の意を表現 <木育とは> 北海道の森林づくりや本道発祥の「木育」や道内各地の活動を紹介 <北海道胆振東部地震からの復旧・復興支援への感謝> 地震発生から2年経過した今の森林やまちの状況を映像で紹介</p>
お手入れ行事紹介	前日のお手入れ行事を映像で紹介
インターバル	
▼式典	
皇族殿下御着	先 導：北海道知事 御出迎え：大会会長(参議院議長)、(公社)国土緑化推進機構理事長 先 行：道内緑の少年団
開会のことば	(公社)国土緑化推進機構副理事長
三旗入場・緑の少年団入場	三 旗 入 場：北海道警察カラーガード隊、道内緑の少年団 緑の少年団入場：道内緑の少年団
国歌独唱・三旗掲揚	国歌独唱：木村香澄(江差追分唄い手) 三旗掲揚：道内ボーイスカウト・ガールスカウト
主催者あいさつ	大会会長(参議院議長)、北海道知事
歓迎のことば	北海道議会議長
皇族殿下のおことば	
表彰	緑化功労者等へ感謝状等を贈呈 贈呈者：大会会長(参議院議長)、農林水産大臣、(公社)国土緑化推進機構理事長、北海道知事
緑の少年団活動発表	代表少年団の活動発表
メインアトラクション	<p>～木育開花 北の大地から未来へ、そして全国へと～ 木とふれあい、木に学び、木と生きる、北海道発祥の「木育」のすばらしさを 次の世代へ引き継ぎ、そして全国に発信</p>
緑の贈呈	全国緑の少年団へ記念品を贈呈 贈呈者：農林水産大臣
大会宣言	(公社)国土緑化推進機構理事長
次期開催県あいさつ	大分県知事
閉会のことば	札幌市長
皇族殿下御発	先 導：北海道知事 御見送り：大会会長(参議院議長)、(公社)国土緑化推進機構理事長
インターバル	
▼エピローグ	
エンディングアトラクション	<p>～感謝の意を込めたアトラクション～ 「江差追分」、「よさこいソーラン演舞」、「私たちの道」の合唱</p>

※式典音楽隊：北海道警察と北海道札幌白石高等学校との合同音楽隊
 ※式典アテンダント：北海道岩見沢農業高等学校



第2章 式典行事計画

3. メインアトラクション

テーマ

木育開花

～北の大地から未来へ、そして全国へと～

豊かな森林と木材に恵まれた北海道で生まれたことば「木育」。木育に込められた想いを表現し、その魅力を知った子どもたちが次の世代へと引き継ぎ、そして全国に発信します。

シーン構成イメージ

黎明（はじまり）

場内が暗転する中、スクリーンには夜の森が映し出されます。一聞こえてくるのは、森の守り神「シマフクロウ」の鳴き声。そこへナレーションが聴こえてきます。森の映像とともに、照明・音響などの演出により、古くからの森との関わりを紹介します。

第一話「芽出し」

木とふれあい、木と遊ぶ

ナビゲーターが登場。北海道が考える「木育」について、その理念を説明します。そこから木と子どもたちの不思議な物語がはじまります。森林や木とふれあうことのすばらしさを子どもたちのダンスで表現します。

第二話「開花」

木に学び、木を活かす

再びナビゲーターが登場。時が経ち、木育を普及させる専門家である木育マイスターになった子どもたちが登場。それぞれ想いをメッセージとして発信し、「木に学び、木を活かしている」人たちが未来へ“想い”をつなげ、広めていくことを誓います。

第三話「結実」

木と生きて、木と暮らす

木育マイスターとなった、森林で不思議な体験をした子どもたち。木育マイスターとしての体験を「より広く、そして次の世代へと伝えていきたい」、そして「木と生きて、木と暮らす」ことの素晴らしさを歌とダンスで表現し、全国に発信します。



第2章 式典行事計画

4. 式典会場整備

式典の会場は、北海道立総合体育センター（北海きたえーる）のメインアリーナを使用し、屋内施設のメリットを活かした音響・照明等により演出効果を高める会場づくりを行います。

また、既存の施設や設備を最大限利用することで、コストの低減を図りつつ、全国の緑化行事にふさわしく、ステージやバックパネル等については、道産材を積極的に活用します。

(1) 会場概要

ア. 式典会場イメージ





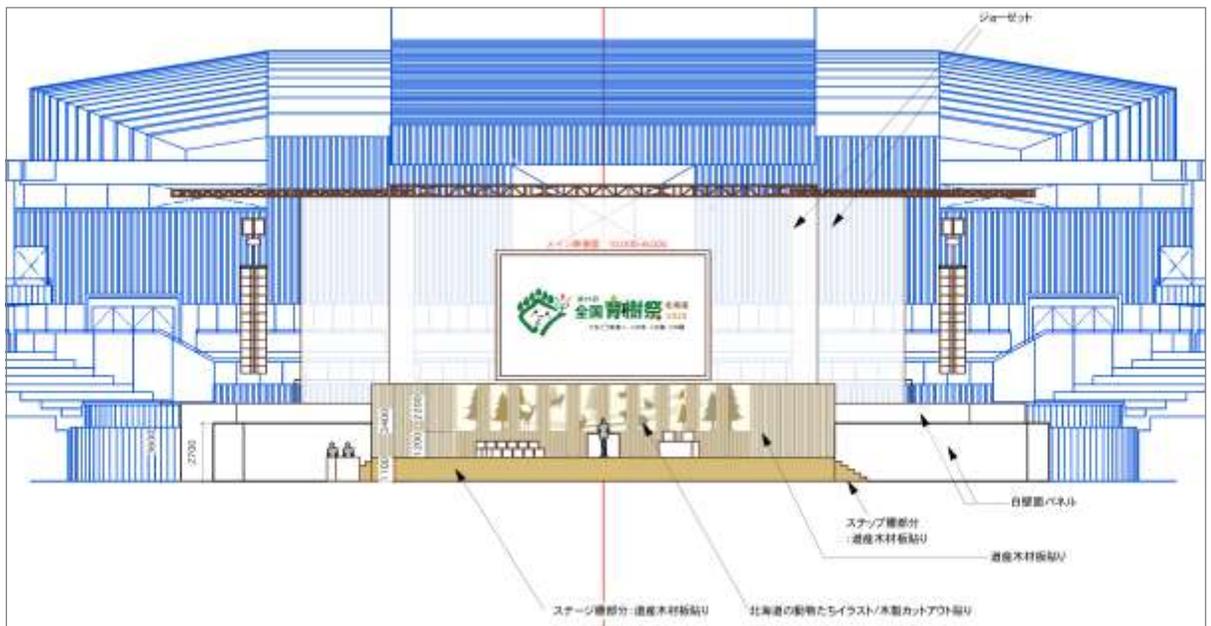
第2章 式典行事計画

イ. ステージ・バックパネルイメージ

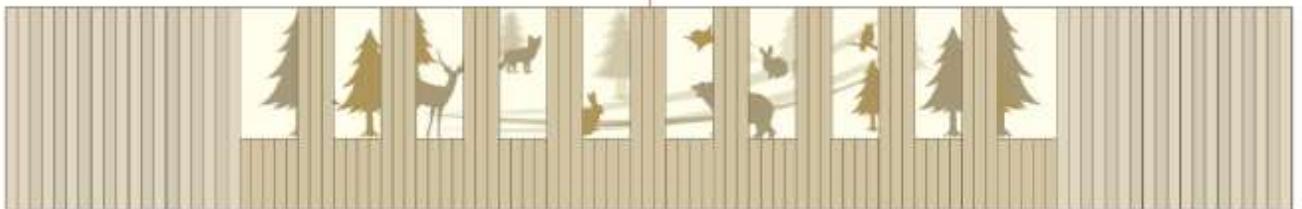
ステージは、客席後方からの視認性を考慮し、嵩上げを行うとともに、大型ビジョンを設置します。

バックパネルには、北海道の森林や北の大地を想起させる木や動物たちを道産木材のカットアウトでデザインし、北海道ならではの雄大な自然を表現します。

■ ステージイメージ



■ バックパネルイメージ





第2章 式典行事計画

(3) 会場設営・装飾

ア. 金属探知機の設置

安全・セキュリティーを確保するため、警戒エリアを設定して金属探知機による入場管理を徹底します。

イ. 案内所・案内誘導サイン・ウエルカムボードの設置

案内所を設置するとともに、参加者を入場から着席まで円滑に誘導し、おもてなし広場やトイレなど会場の配置を把握するための案内誘導サインを設置します。

また、森林王国「北海道」らしく、歓迎の意を伝えるため、デザインを学ぶ学生などのアイデアや協力を仰ぎながら、ウエルカムボードを製作し、設置します。

■ 案内誘導サインイメージ



■ ウエルカムボードイメージ



東京都[平成30年(2018年)]の例



第2章 式典行事計画

ウ. 飾り花の設置

会場全体を彩るため会場内のステージやエントランス等に道産の飾り花を設置します。
プランターカバーには、カラマツやトドマツなどの道産材を活用します。



沖縄県[令和元年(2019年)]の状況

エ. その他

■ 仮設物

椅子などの施設備品や、屋外に設置するテントなど汎用性が高くリース可能な仮設物は、経済性を考慮して、原則、既製品を使用します。

■ 電気供給

電気は、会場電力で賄います。

電線は、なるべく人の通らないところに配線し、通路を横断せざるを得ない場合は養生を行い、安全に配慮します。

■ トイレ・手洗い器

トイレ・手洗い器は、会場設備を利用します。



第2章 式典行事計画

5. おもてなし広場

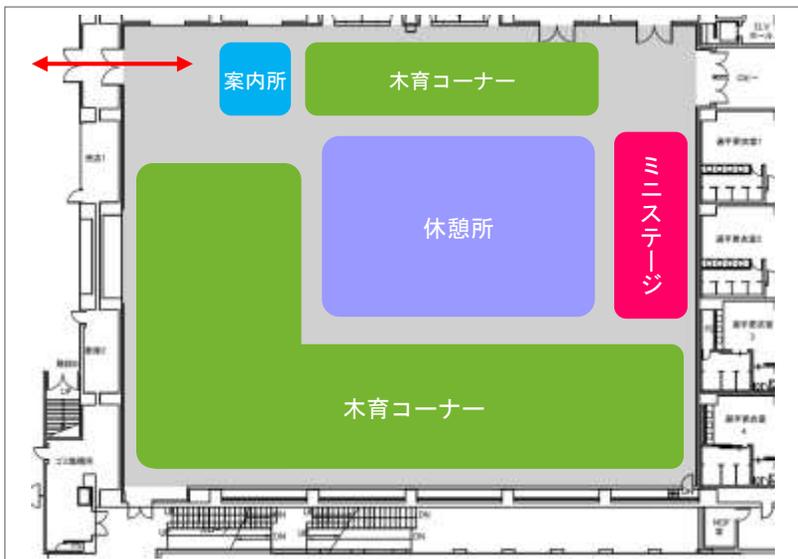
北海道が発祥である森林や木の持つ優しさ、温もりに親しみ、豊かな心を育む「木育」を体感できるよう、式典会場に木製遊具・木製品の展示や、木育を普及させる専門家である「木育マイスター（知事認定）」などによる木工体験ができる木育コーナーを設置します。

また、安全で安心な農産物や海産物などの北海道の自然の恵みを堪能できる飲食物の提供や、豊かな自然・景観、歴史、文化など、北海道の魅力を発信する観光等をPRします。

なお、おもてなし広場は、出展者と協力して廃棄物の減量化に取り組むなど環境に優しい運営に努めます。

(1) 配置案

ア. 屋内会場 ～北海道発祥の「木育」を体感～



イ. 屋外会場 ～北海道の食と観光～





第2章 式典行事計画

(2) 木育コーナー 屋内会場

道内の農業高等学校・専門学校・林業関係団体等による木製遊具・木製品の展示のほか、木育マイスター等による木工体験ブースの設置、企業と連携した森づくりや木育の取組事例・施設の紹介パネルの展示、DVDの上映など北海道の木育コーナーを設置します。



木育コーナーのイメージ[令和元年(2019年)11月30日～12月1日「苫東・和みの森 木で遊ぼう！木で作ろう！」の様子]

(3) 飲食コーナー 屋外会場

道内で穫れた農産物や海産物など北海道の秋の味覚を堪能でき、食育と木育の連携企画も取り入れた飲食コーナーを設置するとともに、特産品・加工品などの紹介・販売ブースも設けます。



沖縄県[令和元年(2019年)]の状況



※イメージ



第2章 式典行事計画

(4) 観光コーナー **屋外会場**

北海道の観光名所、アイヌや縄文などの文化、北海道遺産等のパネル展示、四季折々の北海道の自然等を紹介するDVDの上映など北海道の見どころ情報を発信する観光コーナーを設置します。



沖縄県[令和元年(2019年)]の状況



アイヌ文化のイメージ



縄文文化のイメージ

(5) ミニステージ **屋内会場**

北海道の伝統芸能や、木を使ったパフォーマンスなど参加者の心に残るミニステージを設置します。

(6) その他

参加者がくつろげる空間を確保するため、案内所、休憩所、湯茶提供ブースを設置します。

- | | |
|------------|--------------------|
| ア. 案内所 | おもてなし広場内（屋内、屋外） |
| イ. 休憩所 | おもてなし広場内（屋内、屋外） |
| ウ. 湯茶提供ブース | 1階ホワイエ、地下1階アリーナホール |

第3章

お手入れ行事計画

第44回
全国育樹祭 北海道
2020



第3章 お手入れ行事計画

1. 基本的な考え方

お手入れ行事は、平成19年(2007年)の第58回全国植樹祭の式典会場となった場所(通称「苦東・和みの森」)において、天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れされるという育樹の実践を通して「継続して森を守り育てることの大切さ」を全国に発信します。

なお、荒天の場合、お手入れ行事は中止します。

苦東・和みの森

平成19年(2007年)、日本最大の産業地域である苫小牧東部地域産業用地(苫東)において第58回全国植樹祭が開催されました。その後、その会場は「苦東・和みの森」という愛称がつけられ、参加者記念植樹で植えられた樹木は、10年以上にわたってボランティア団体などが下草刈り、除伐等の保育管理を行ってきました。また、式典会場となった場所には、お野立て所の構造部が開催記念のモニュメントとして残され、木育イベント会場のシンボルとして地域の方々に親しまれています。

2. お手入れ行事の概要

- (1) 開催日：令和2年(2020年)10月3日(土)午後
- (2) 会場：苦東・和みの森(苫小牧市字静川) ※第58回全国植樹祭開催地
- (3) 参加者：約300人

〔 大会会長(参議院議長)、農林水産大臣、林野庁長官、
(公社)国土緑化推進機構理事長 等 〕



苦東・和みの森
イベント開催時の様子
[平成29年(2017年)]



会場MAP



第3章 お手入れ行事計画

(4) 次第

次第	内容/対応者（予定含む）
▼入場開始	
受付・入場	参加者の受付スタート
▼記念育樹活動	
特定参加者による育樹活動	会場内の樹木に施肥（記念撮影含む） 介 添 え：道内緑の少年団など
参加者着席・行事説明	お手入れ行事内容の説明 説 明：司会者
▼お手入れ行事	
皇族殿下御着	先 導：北海道知事 御出迎え：大会会長（参議院議長）、（公社）国土緑化推進機構理事長 先 行：苫東・和みの森っこクラブ
パネル展示御覧	説 明：北海道知事 〔 第12回全国植樹祭（昭和36年）・第11回全国育樹祭（昭和62年）・ 第58回全国植樹祭（平成19年）の様子のパネル写真やお手植え樹木の生育状況等 〕
お手入れ	介 添 え：北の森づくり専門学院生、苫東・和みの森っこクラブ
皇族殿下御発	先 導：北海道知事 御見送り：大会会長（参議院議長）、（公社）国土緑化推進機構理事長
▼記念育樹活動	
特定参加者以外の招待者による育樹活動	会場内の樹木に施肥 介 添 え：北の森づくり専門学院生など



第3章 お手入れ行事計画

(5) お手入れ内容

ア. お手入れ対象樹木

樹種：アカエゾマツ [天皇皇后両陛下（現上皇皇后陛下）お手植え樹木]
樹齢：14年生 [令和2年(2020年)時点]

イ. お手入れ作業

皇族殿下による枝打ち、施肥

<枝打ち>



<施肥>



沖縄県[令和元年(2019年)]での実施状況

ウ. お手入れ道具

手鋸、肥料入れ、鍬
お手入れ道具には、道産材を積極的に活用します。

<お手入れ道具>



沖縄県[令和元年(2019年)]のお手入れ道具



第3章 お手入れ行事計画

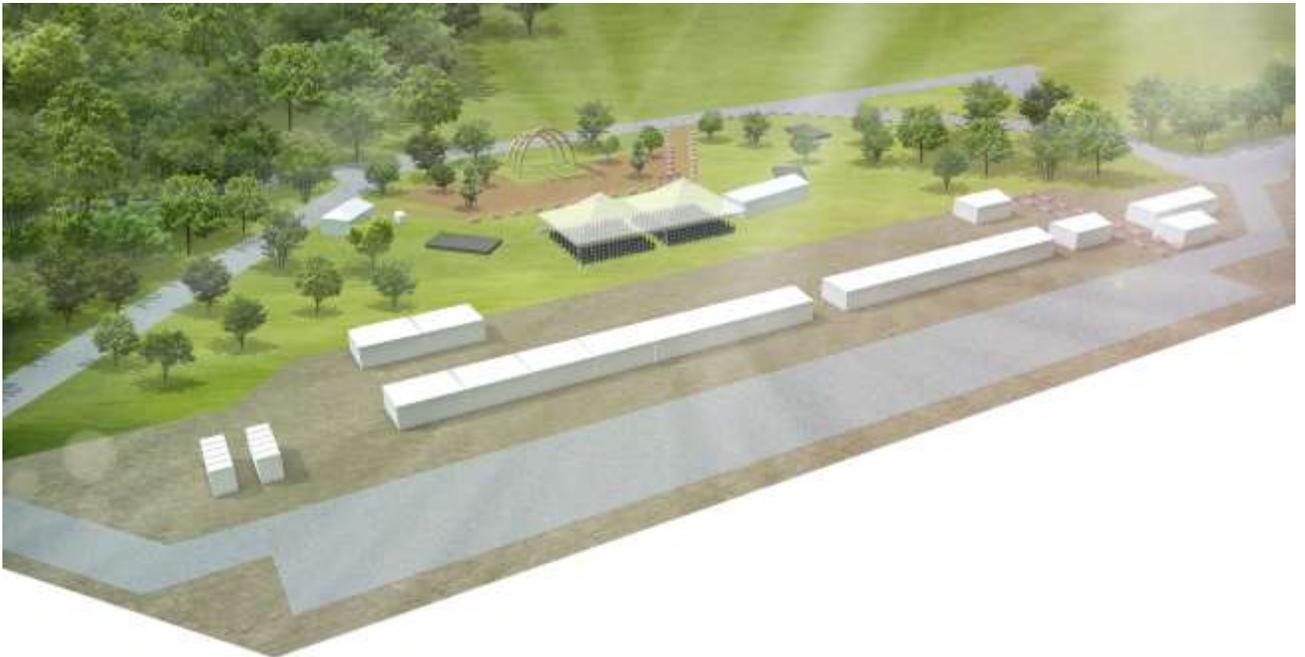
3. お手入れ会場整備

お手入れ会場は、第58回全国植樹祭で式典が行われた会場を使用します。

会場の整備にあたっては、既存の道路や駐車場を利用するほか、地域で発生した倒木等を使用した木材チップやリサイクル製品を積極的に使用するなど、周辺の景観や環境に十分配慮するとともに、誰でも森林と関わり、森林づくりに携わることのできるコミュニティの場としての活用にも配慮します。

また、お手入れ行事に必要な仮設物の設置と会場及び周辺の美化・清掃を行います。

お手入れ会場イメージ





第3章 お手入れ行事計画

(1) お手入れ会場

第58回全国植樹祭開催時に設置した木杭の撤去や芝張りなど必要な整備を行います。

(2) 道路等の整備

皇族殿下がご乗車されるお車、行事参加者の送迎車両等の安全な走行に必要な道路と駐車場の整備を行います。

道路等の工作物は、現有施設の利用を基本とします。

(3) テント等の設置

行事開催に必要なテントや説明パネル等仮設物を設置します。

説明パネル台の製作にあたっては、第12回全国植樹祭で参加者が植栽したアカエゾマツを使用します。

(4) 飾り花の設置

会場を彩り、動線を確認するため道産の飾り花を設置します。プランターカバーには、カラマツやトドマツなどの道産材を積極的に活用します。

(5) 案内誘導サインの設置

参加者が安全かつ円滑にお手入れ行事に参加することができるよう案内誘導サインを設置します。

(6) 電気・給排水設備等の設置

お手入れ会場には既存の電源、水道がないことからトイレ等必要な仮設物を設置します。

(7) その他

お手入れ行事終了後、お手入れ樹木の保護を目的として、木柵等を設置します。

第4章

育樹等行事計画

第44回
全国育樹祭 北海道
2020



第4章 育樹等行事計画

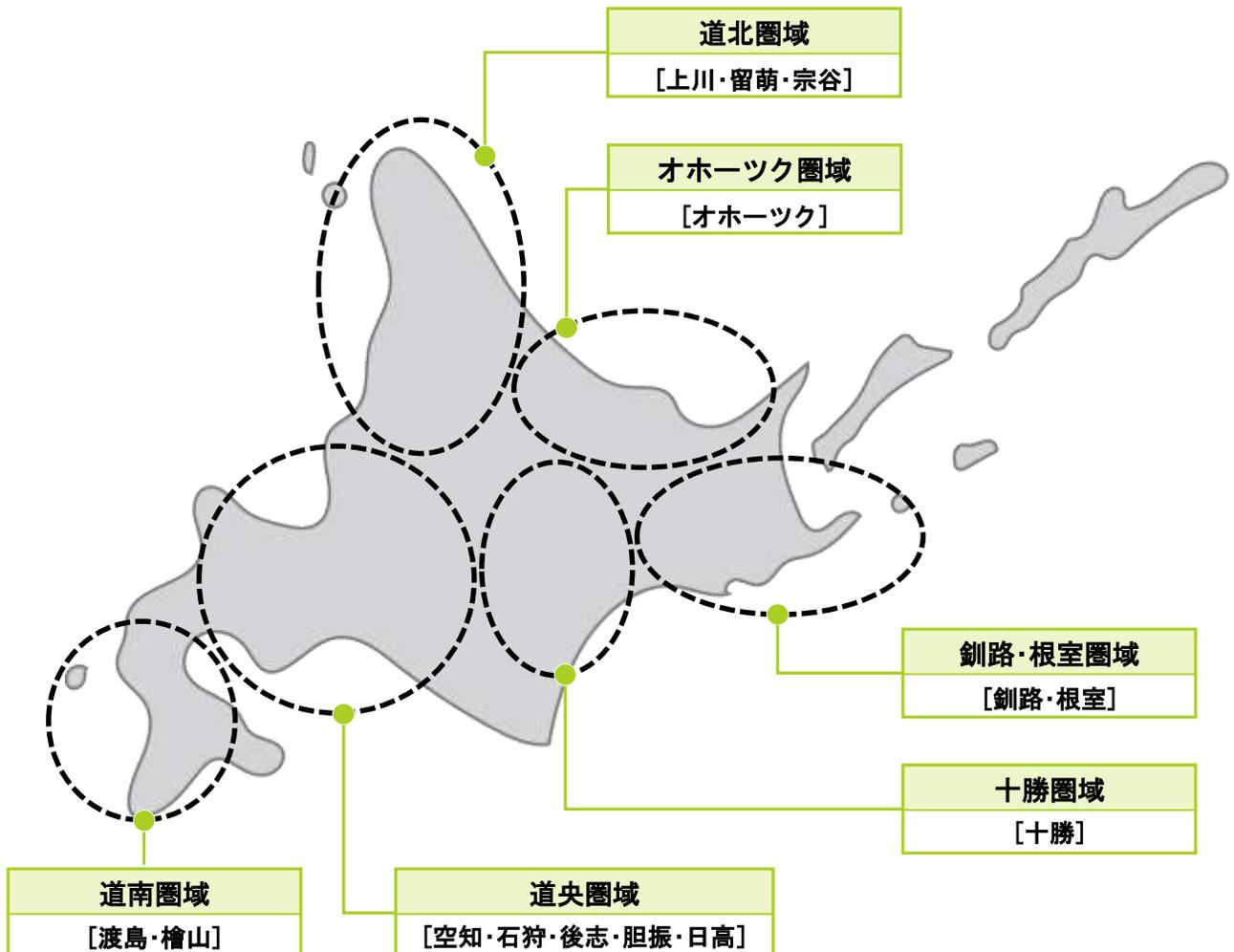
1. 基本的な考え方

育樹等行事は、より多くの方々と育樹の大切さへの思いを共有し、道民との協働による森林づくりを一層進められるよう、広大で多様な森林を有し、木育の発祥の地でもある北海道の様々な特色を活かしながら、全道6つの圏域ごとに、「圏域木育フェスタ」の名称で実施します。

また、その後も全道各地での育樹活動や木育イベントなどの取組が継続・発展していく契機となるよう、環境や教育、食育など幅広い関連行事等との連携のほか、行事の企画・立案段階から市町村や森林組合、地元企業のほか、教育関係者・木育マイスター等との連携を図り、取組を進めます。

なお、第58回全国植樹祭の開催の地であり、お手入れ行事の開催の地でもある苫小牧市字静川(苫東・和みの森)をメイン会場とします。

■ 育樹等行事会場(6圏域:[]は(総合)振興局名)





第4章 育樹等行事計画

2. 育樹等行事(圏域木育フェスタ)の概要

基本的な考え方を踏まえ、より多くの道民が身近な地域で育樹活動や木育が体感できるよう、全国育樹祭開催前年の育樹月間(10月)をスタートとして、国や市町村、団体、企業など様々な主体と連携しながら、圏域ごとの特色を活かした取組を1年にわたって、全道各地で開催します。

(※主な取組には、終了したものも含まれています。)

- (1) 開催期間 : 令和元年(2019年)10月から令和2年(2020年)秋期まで
- (2) 行事内容 : [※令和2年(2020年)度の開催時期はいずれも予定]

ア. 道央圏域木育フェスタ ～ 空知・石狩・後志・胆振・日高(総合)振興局管内 ～

育樹等行事のメイン会場である苫東・和みの森において、全道の木育マイスターが集うシンボリックなイベントを行うとともに、圏域内で行われる育樹等行事(植樹～下刈り～育樹、木育プログラム)を巡りながら体験することで、森林づくりの一連の流れや育樹の重要性・必要性の理解を深め、未来の森林づくりにつなげます。



苫東・和みの森での活動[苫小牧市]

令和元年度(2019年度)の主な取組

○しりべしみらいの森

- (1) 開催日 : 令和元年10月21日
- (2) 会場 : しりべしみらいの森(ニセコ町)
- (3) 主催 : 北海道後志総合振興局、林野庁北海道森林管理局後志森林管理署
- (4) 行事内容 : 小学生を対象とした枝打ち・除伐体験、木育マイスターによる森林学習など

○ようこそ!森のコミュニティーセンターへ

- (1) 開催日 : 令和元年11月30日、12月1日
- (2) 会場 : イオンモール苫小牧(苫小牧市)
- (3) 主催 : 苫東・和みの森運営協議会、北海道胆振総合振興局
- (4) 行事内容 : 木製遊具、松ぼっくりのツリーづくり、薪割り体験など

令和2年度(2020年度)の主な取組

○えりもワクワク森林づくり体験事業植樹祭

- (1) 開催時期 : 令和2年6月
- (2) 会場 : 町有林(えりも町)
- (3) 主催 : えりも町、えりも岬の緑を守る会、北海道日高振興局
- (4) 行事内容 : 漁協女性部、小学生、木育応援企業等による植樹、木育マイスターによる木工体験、パネル展示など



第4章 育樹等行事計画

○企業参加による「育樹・木育体験」

- (1) 開催時期 令和2年6月
- (2) 会場 道民の森 神居尻地区（当別町）
- (3) 主催 公益財団法人 オリックス宮内財団
- (4) 行事内容 下刈りや補植などの育樹活動、森林散策や木工体験による木育

○森カフェin苫東・和みの森 [メイン会場行事]

- (1) 開催日 令和2年7月18日・19日
- (2) 会場 苫東・和みの森（苫小牧市）
- (3) 主催 苫東・和みの森運営協議会、北海道胆振総合振興局
- (4) 行事内容 木育マイスターフォーラム、親子で参加する薪づくり・クラフト、森のようちえん、育樹体験など

○「木育ひろば」inくっちゃんじゃが祭り

- (1) 開催時期 令和2年8月
- (2) 会場 倶知安駅前通り（倶知安町）
- (3) 主催 北海道後志総合振興局
- (4) 行事内容 木製遊具体験、コースター・マイ箸づくりなど木工作体験、パネル展示など

○野幌森林公園育樹体験

- (1) 開催時期 令和2年9月
- (2) 会場 道有林（江別市）
- (3) 主催 北海道空知総合振興局
- (4) 行事内容 木育マイスターによる森林の話、緑の少年団を対象とした枝打ち体験、森林散策など

イ. 道南圏域木育フェスタ ～ 渡島・檜山(総合)振興局管内 ～

スギ、ヒノキアスナロなど、暮らしの中で親しまれている道南圏域特有の木や森を体感することをテーマに、木育マイスターや地元企業、関係団体等と連携した植樹、育樹、木工体験などを通じて、道南の風土に合った森林づくりを進めます。

令和元年度(2019年度)の主な取組

○森を楽しもうバスツアー

- (1) 開催日 令和元年10月26日
- (2) 会場 森町町内
- (3) 主催 無印良品シエスタハコダテ、木育マイスター道南支部、北海道渡島総合振興局
- (4) 行事内容 木のスプーンづくり、台風被災地へのスギ・ブナ・クリの地域樹種の植樹、間伐体験、トマト収穫・調理体験



森を楽しもうバスツアー[森町・スギの植樹]



第4章 育樹等行事計画

○ひやま木育フェスタinあっさぶ

- (1)開催日 令和2年2月16日
- (2)会場 土橋自然観察教育林（厚沢部町）
- (3)主催 北海道檜山振興局、厚沢部町教育委員会
- (4)行事内容 木育マイスターなどによる木工作体験（ヒバの枝を使ったバードコールづくりなど）や森林散策など

令和2年度(2020年度)の主な取組

○江差町町民の森育樹祭

- (1)開催時期 令和2年6月中旬
- (2)会場 町民の森（江差町）
- (3)主催 江差町緑化推進委員会
- (4)行事内容 ヒノキアスナロ（ヒバ）の育樹（下刈り）

○「殿様街道探訪ウォークin秋」並びに「ブナの森100年観察林観察会」

- (1)開催日 令和2年10月18日
- (2)会場 道有林（福島町）
- (3)主催 福島町、福島町千軒活性化実行委員会、北海道渡島総合振興局
- (4)行事内容 歴史の道「殿様街道」を歩く森林散策、松前神楽鑑賞、「ブナの森100年観察林」の枝払いや成長観察など

○道南圏域育樹祭&木育フェスタ

- (1)開催時期 令和2年秋期
- (2)会場 大沼流山牧場パド・ミュゼ（七飯町）
- (3)主催 道南圏域育樹祭実行委員会、木育フェスタ実行委員会
- (4)行事内容 下刈りや除伐などの育樹活動、スギ・ブナなどの植樹、木育マイスター道南支部など関係機関による木育イベント、自然散策、地元特産品や食品の販売など

○「育ちの森」植樹祭

- (1)開催時期 令和2年秋期
- (2)会場 三菱マテリアル「育ちの森」（森町）
- (3)主催 三菱マテリアル株式会社
- (4)行事内容 森町の木であるクリの植樹、木育活動

○檜山の森づくり植樹祭inいまかね

- (1)開催時期 令和2年秋期
- (2)会場 町有林（今金町）
- (3)主催 檜山の森づくり実行委員会
- (4)行事内容 地域に適した樹種の植樹、木育ワークショップなど



第4章 育樹等行事計画

ウ. 道北圏域木育フェスタ ～ 上川・留萌・宗谷(総合)振興局管内 ～

北海道遺産の旭川家具、湿原等の景勝地や見どころのある森林、多様で活発な木育マイスターの活動など、道北圏域の潜在力と魅力を活かし、どの世代にも親しみやすく、雄大な森をまるごと体感できるイベントを実施し、次世代を担う子どもや児童・生徒の参加と幅広い世代間の交流による森林づくりを進めます。



名美の滝めぐりツアー[美深町・深緑の滝]

令和元年度(2019年度)の主な取組

○「トムテ文化の森」育樹祭

- (1)開催日 令和元年10月5日
- (2)会場 トムテ文化の森(名寄市)
- (3)主催 名寄市、名寄振興公社、北海道上川総合振興局
- (4)行事内容 森林散策、枝打ち体験、木育マイスターなどによる木工作体験など

○木工教室in苫前町公民館

- (1)開催日 令和2年1月26日
- (2)会場 公民館(苫前町)
- (3)主催 苫前町公民館
- (4)行事内容 木育マイスターによる「森の循環について」の話、森の色鉛筆と森のカトラリーづくり

令和2年度(2020年度)の主な取組

○「2020松山湿原とニウブ自然探勝」第26回登山の集い

- (1)開催日 令和2年6月27日
- (2)会場 松山湿原及び天竜沼(美深町)
- (3)主催 美深町観光協会
- (4)行事内容 登山道に木質チップを散布しながらの登山、森林散策など

○「トムテ文化の森」育樹祭

- (1)開催日 令和2年6月14日
- (2)会場 トムテ文化の森(名寄市)
- (3)主催 名寄市、名寄振興公社、北海道上川総合振興局
- (4)行事内容 森林散策、枝打ち体験、木育マイスターなどによる木工作体験など

○第35回「森林の市」

- (1)開催日 令和2年7月26日
- (2)会場 旭川林業会館(旭川市)
- (3)主催 「森林の市」実行委員会
- (4)行事内容 「上川の木育推進を図る連携協議会」による木製遊具などの木育ひろばの設置、木育マイスターや家具職人などによる木工作体験など



第4章 育樹等行事計画

○うたのぼり・癒しの森「音夢路」森林体験

- (1)開催日 令和2年(2020年)9月6日
- (2)会場 うたのぼり・癒しの森「音夢路」(枝幸町)
- (3)主催 うたのぼり・癒しの森「音夢路」利用促進協議会
- (4)行事内容 森林散策、植樹体験など

○るもいの森をまるごと体感！！

- (1)開催日 令和2年9月27日
- (2)会場 るもっぺ憩いの森(留萌市)
- (3)主催 留萌市、北海道留萌振興局
- (4)行事内容 森林散策、育樹体験、木育マイスターなどによる木工体験や森あそび

エ. オホーツク圏域木育フェスタ ～ オホーツク総合振興局管内 ～

木育関係施設が多数存在するオホーツク圏域の特徴を活かし、木育マイスターや各市町村等との連携により、地域全体の取組として、木と触れ合う木育体験や緑に親しむ育樹活動などを組み合わせたイベントを実施することで、木の王国オホーツクならではの森林づくりを進めます。



森林体験バスツアー[佐呂間町]

令和元年度(2019年度)の主な取組

○「ピアノの森」育樹祭・木製楽器づくり

- (1)開催日 令和元年10月19日
- (2)会場 町有林、交流促進施設「やまびこ」(遠軽町)
- (3)主催 北見木材株式会社、遠軽町、北海道オホーツク総合振興局
- (4)行事内容 枝打ち・除伐などの育樹体験、木製楽器「カリンバ」製作など

○オホーツクウッドクラフトフェスティバルでの木育体験

- (1)開催日 令和元年10月19日、20日
- (2)会場 オホーツク木のプラザ(北見市)
- (3)主催 (一社)オホーツク森林産業振興協会ほか
- (4)行事内容 森林散策、木工体験など



第4章 育樹等行事計画

令和2年度(2020年度)の主な取組

○オホーツククラフト街道バスツアー

- (1)開催時期 令和2年6月下旬
- (2)会場 (北見発東コース) 果夢林の館(北見市) など
(北見発西コース) 木楽館(遠軽町) など
- (3)主催 (一社) オホーツク森林産業振興協会、北海道オホーツク総合振興局
- (4)行事内容 管内10箇所の木育施設の見学、木工体験など

○森林体験ツアー

- (1)開催日 令和2年7月5日
- (2)会場 美幌みどり村(美幌町)
- (3)主催 (一社) オホーツク森林産業振興協会、北海道オホーツク総合振興局
- (4)行事内容 枝打ち・除伐体験、森林散策、木育マイスターによる木工体験など

○木工体験inおこっぺ街中マルシェ

- (1)開催日 令和2年9月5日
- (2)会場 興部町商店街(興部町)
- (3)主催 北海道オホーツク総合振興局
- (4)行事内容 木工体験(コースターづくり)、森林認証(SGEC)等に関するパネル展

○木工体験inオータムフェスティバル秋の流水公園まつり

- (1)開催時期 令和2年9月中旬
- (2)会場 オホーツク流水公園(紋別市)
- (3)主催 北海道オホーツク総合振興局
- (4)行事内容 木工体験(マイ箸づくり)、森林認証(SGEC)等に関するパネル展

○木工体験inオホーツク農大マルシェ

- (1)開催日 令和2年10月10日・11日
- (2)会場 東京農業大学北海道オホーツクキャンパス
- (3)主催 北海道オホーツク総合振興局
- (4)行事内容 木工体験(マイ箸づくりなど)

オ. 十勝圏域木育フェスタ ～ 十勝総合振興局管内 ～

「植えて、育てて、伐って使って、また植える」森林資源の循環利用の取組を、木育マイスターのネットワーク等と連携し、地域の行動として進めていく「(仮称)木育の森づくり」の実践を通じ、十勝管内全域において、その意義を発信し、地域住民の参加による「木育の森づくり」を進めます。



十勝圏域木育フェスタイメージ[浦幌町・「夢の森」]



第4章 育樹等行事計画

令和元年度(2019年度)の主な取組

○銀河の里「ツリーフェスティバル」

- (1)開催日 令和元年10月6日
- (2)会場 本別公園(本別町)
- (3)主催 銀河の里tree festival実行委員会
- (4)行事内容 十勝木育マイスターの会による木工体験 林業体験など

○はぐく一む秋まつり

- (1)開催日 令和元年10月14日
- (2)会場 帯広の森・はぐく一む(帯広市)
- (3)主催 帯広の森・はぐく一む
- (4)行事内容 森の輪体験、森のお散歩、森のお話会、木のおもちゃなど

令和2年度(2020年度)の主な取組

○町民植樹祭&育樹祭

- (1)開催日 令和2年5月17日
- (2)会場 萌和山森林公園(大樹町)
- (3)主催 大樹町
- (4)行事内容 町民による植樹・育樹体験など

○じゅんの森育樹祭

- (1)開催日 令和2年5月23日
- (2)会場 じゅんの森(池田町)
- (3)主催 NPO法人トカプチの森
- (4)行事内容 NPO法人や森林組合と連携した補植など

○十勝圏域木育フェスタin久保の森

- (1)開催日 令和2年5月31日
- (2)会場 久保学習の森(豊頃町)
- (3)主催 北海道十勝総合振興局
- (4)行事内容 十勝木育マイスターの会や地元小学生などによる植樹体験、ツリーイングなど

○2020しみずグリーンフェスティバル

- (1)開催日 令和2年6月13日
- (2)会場 北清水町有林(清水町)
- (3)主催 清水町
- (4)行事内容 町民による記念植樹など

○銀河の里「ツリーフェスティバル」

- (1)開催日 令和2年10月11日
- (2)会場 本別公園(本別町)
- (3)主催 銀河の里tree festival実行委員会
- (4)行事内容 十勝木育マイスターの会による木工体験・林業体験など



第4章 育樹等行事計画

カ. 釧路・根室圏域木育フェスタ ～ 釧路・根室(総合)振興局管内 ～

酪農や水産業が盛んな地域の環境を守るため、植樹の取組が盛んに行われており、その取組に枝打ちなどの育樹活動を組み合わせたイベントを木育マイスターのネットワーク等と連携して実施するとともに、エゾシカ被害に対応した植樹や育樹の手法の紹介を通じて、自然との共生を図った森林づくりを進めます。



シカ侵入防止柵の設置による植樹[別海町]

令和元年度(2019年度)の主な取組

○木育・森づくりフェア

- (1)開催日 令和元年10月19日・20日
- (2)会場 イオンモール釧路昭和(釧路市)
- (3)主催 釧路町村会環境保全型森づくりプロジェクトチームなど
- (4)行事内容 木育マイスター道東支部による木育広場、木製遊具設営、木工等体験など

○くしろ「木づな」フェスティバル

- (1)開催日 令和元年11月9日・10日
- (2)会場 釧路市観光国際交流センター(釧路市)
- (3)主催 くしろ木づなフェスティバル実行委員会
- (4)行事内容 マイ箸づくり・押し葉のしおりづくり等木工工作体験、木製遊具設営、木育マイスター道東支部による木育教室など

令和2年度(2020年度)の主な取組

○根室市植樹祭・育樹祭

- (1)開催日 令和2年5月31日
- (2)会場 根室市市民の森(根室市)
- (3)主催 根室市
- (4)行事内容 植樹、過去の植栽地の草取り、追肥など

○鶴居村植樹祭・育樹祭

- (1)開催時期 令和2年6月中旬
- (2)会場 鶴居村鶴居市街
- (3)主催 鶴居村
- (4)行事内容 植樹、過去の植栽木の移植など

○木材(地域材)利用を考えるフォーラム2020(仮称)

- (1)開催時期 令和2年8月上旬
- (2)会場 中標津町内
- (3)主催 中標津町、中標津町地域材利用促進協議会
- (4)行事内容 木育マイスター道東支部による木育体験、エゾシカ被害対策紹介パネル展示など



第4章 育樹等行事計画

○厚岸樹木園整備

- (1)開催時期 令和2年9月中旬
- (2)会場 厚岸樹木園（厚岸町）
- (3)主催 北海道釧路総合振興局
- (4)行事内容 くしろ森林サポーターの会、厚岸町老人クラブ連合会による笹の整理、除伐などの育樹活動、木工体験など

○木育・森づくりフェア

- (1)開催日 令和2年11月7日・8日
- (2)会場 イオンモール釧路昭和（釧路市）
- (3)主催 釧路町村会環境保全型森づくりプロジェクトチームなど
- (4)行事内容 木育マイスター道東支部による木育広場、木製遊具設営、木工等体験、エゾシカ被害対策紹介パネル展示など

(3) 映像展開

育樹等行事の開催概要を録画・編集して、北海道の紹介映像とともに、式典演出のプロローグ等で放映します。

第5章

レセプション計画

第44回
全国育樹祭 北海道
2020



第5章 レセプション計画

1. 基本的な考え方

レセプションは、皇族殿下の御臨席を仰ぎ、大会関係者を招待して、全国育樹祭での各種表彰者に祝意を表す場として開催します。

2. レセプションの概要

- (1) 開催日 : 令和2年(2020年)10月3日(土)夜
- (2) 会場 : ニューオータニイン札幌(札幌市中央区)
- (3) 参加者 : 約400人
- (4) 主な参加者: 皇族殿下、
大会会長(参議院議長)、農林水産大臣、林野庁長官、
(公社)国土緑化推進機構理事長、北海道知事、北海道議会議長、
緑化功労者、林業・木材関係団体代表者、
全国育樹祭北海道実行委員会委員 等
- (5) レセプション次第

項目	内容
▼開場	
招待者入場	
▼レセプション	
皇族殿下御着	
開宴のことば	北海道議会議長
主催者あいさつ	大会会長(参議院議長)
乾杯	北海道知事
皇族殿下による緑化功労者等へのお声掛け、歓談	
皇族殿下御発	
閉宴・招待者退場	



沖縄県[令和元年(2019年)]の様子

第6章

併催行事計画

第44回
全国育樹祭 北海道
2020



第6章 併催行事計画

1. 育林交流集会

育林交流集会は、林業関係者はもとより、次代を担う大学生や高校生、ボランティア団体など、森林・林業に関心の高い人たちを対象として、森林づくりや林業の成長産業化等をテーマに講演等を行います。

- (1) 主催：北海道、(公社)国土緑化推進機構
- (2) 開催日：令和2年(2020年)10月3日(土) 13:00～16:00(予定)
- (3) 会場：共済ホール(札幌市中央区)
- (4) 参加者：約400人
- (5) 内容：基調講演、活動事例報告等

(6) 育林交流集会内容

項目	内容
歓迎アトラクション	(調整中)
主催者あいさつ	北海道、(公社)国土緑化推進機構
来賓あいさつ	林野庁、(一社)全国林業改良普及協会
歓迎のことば	札幌市
基調講演	(調整中)
活動事例報告	(調整中)
閉会のことば	北海道



沖縄県[令和元年(2019年)]での実施状況



第6章 併催行事計画

2. 全国緑の少年団活動発表大会

全国緑の少年団活動発表大会は、道内及び全国から選出された緑の少年団を対象として、日頃の活動状況の発表や情報交換を行い、意識の向上を図ります。

また、活動発表大会終了後、別会場に移動して交流会を開催し、レクリエーション等により、緑の少年団相互の交流を深めます。

① 全国緑の少年団活動発表大会

- (1) 主催：北海道、(公社)国土緑化推進機構
- (2) 開催日：令和2年(2020年)10月3日(土) 12:00～15:00(予定)
- (3) 会場：北海道大学 高等教育推進機構大講堂(札幌市北区)
- (4) 参加者：約400人
- (5) 内容：活動発表、各種表彰、特別講演 等

(6) 活動発表大会内容

項目	内容
歓迎アトラクション	
団旗入場・各団紹介	緑の少年団(全国選出10団)
主催者あいさつ	(公社)国土緑化推進機構、北海道
歓迎のことば	札幌市
励ましのことば	林野庁
みどりの奨励賞表彰	緑の少年団(全国選出10団)
活動発表	緑の少年団(全国選出代表5団)
特別講演	(調整中)
講評	(公社)国土緑化推進機構
緑の少年団育成成功労者表彰	団体・個人等
閉会のことば	(公社)国土緑化推進機構



沖縄県[令和元年(2019年)]での実施状況



第6章 併催行事計画

② 全国緑の少年団交流集会

- (1) 主 催：北海道、(公社)国土緑化推進機構
- (2) 開催日：令和2年(2020年)10月3日(土) 19:00～20:00(予定)
- (3) 会 場：北海道青少年会館コンパス(札幌市南区)
- (4) 参加者：約150人
- (5) 内 容：レクリエーション等

内容	
発表大会終了後	バスで「北海道青少年会館コンパス」へ移動
入室・荷物整理・休憩	オリエンテーション
夕食・入浴	
レクリエーション	(調整中)
就寝	
翌朝(式典当日)	バスで「式典会場」へ移動



沖縄県[令和元年(2019年)]での実施状況

第7章

記念行事計画

第44回
全国育樹祭 北海道
2020



第7章 記念行事計画

1. 森林・林業・環境機械展示実演会

森林・林業・環境機械展示実演会は、機械導入による省力化や効率化・労働災害の防止等に関係者に一層普及するとともに、将来の森林づくりの担い手である林業関係の学生や一般参加者の理解を深めるため、全国の林業機械メーカー等による最新林業機械等の展示・実演などを行います。

- (1) 主 催：北海道、（一社）林業機械化協会
- (2) 開催日：令和2年(2020年)10月4日（日）9：00～16：30（予定）
5日（月）9：00～15：00（予定）
- (3) 会 場：苫小牧東部地域（苫小牧市字柏原6－187）
- (4) 参加者：約15,000人
- (5) 内 容：高性能林業機械等の展示実演 等

(6) 展示実演会内容

■ 10月4日(日)

項目	内容
歓迎アトラクション	(調整中)
主催者あいさつ	北海道、（一社）林業機械化協会
来賓あいさつ	林野庁
歓迎のことば	苫小牧市
テープカット	
展示・実演	国内外の森林・林業・環境機械メーカー等による展示・実演

■ 10月5日(月)

項目	内容
展示・実演	国内外の森林・林業・環境機械メーカー等による展示・実演



沖縄県[令和元年(2019年)]での実施状況



第7章 記念行事計画

2. その他の記念行事

「北海道・木育フェスタ」など北海道が実施する植樹祭等の緑化イベントや環境関連行事等のほか、市町村や関係団体等が実施するイベント等と連携し、開催気運醸成のための取組を進めます。



木育フェスタin東川
[令和元年(2019年)10月]



北海道植樹祭・育樹祭
[令和元年(2019年)10月]

第8章

運営計画

第44回
全国育樹祭 北海道
2020



第8章 運営計画

1. 基本的な考え方

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、道内外から約5,000人が集う大きな全国行事であることから、安全の確保を最優先とし、参加される方が安心かつ快適に時間と空間を共有できる「おもてなし」の配慮が行き届いた運営を行います。

また、大会の運営にあたっては、関係機関や団体と緊密な連携・協力のもと、不測の事態にも適切に対応できる体制を整備します。

2. 実施本部計画

全国育樹祭の式典等を円滑に実施・運営するための実行組織として、令和2年度（2020年度）に「第44回全国育樹祭北海道実施本部」を設置します。

また、実施本部員が自らの業務内容を把握できるよう各班単位の「運営マニュアル」を作成します。

3. 緊急対応計画

自然災害等の非常事態や、荒天時のお手入れ行事の実施判断など緊急時の体制を整備するとともに対応フローを作成します。

第9章

広報・協賛計画

第44回
全国育樹祭 北海道
2020



第9章 広報・協賛計画

1. 基本的な考え方

第44回全国育樹祭の開催気運を醸成し、北海道の森林が私たちにもたらす恩恵や、木の持つ優しさ・温もりを多くの道民に啓発するとともに、育樹祭終了後も道民が開催意義を継承し、引き続き、森や木に触れ合うことができ、日頃から木を使う意識が根付くよう広報活動を実施します。

2. 広報・PR

道の取組はもとより市町村等と連携しながら、大会テーマである「つなごう未来へ この木 この森 この緑」や木育の取組等について、広く普及・浸透を図ります。

(1) 各種イベントとの連携

道内各地で開催される植樹祭や、森林体験学習、木工教室などの木育イベントに加え、環境関連行事や記念事業などと連携し、説明パネルやポスター等を活用しながら、道民に向けて参加・参画への呼びかけを行います。

(2) 広報媒体の活用

広報誌や新聞、テレビ、ラジオなど多様な広報媒体を利用するほか、全国育樹祭用のホームページ等を活用して適時に広報活動を実施します。

3. 記録

第44回全国育樹祭の開催記録を保存するために、記録誌やDVD等を製作します。



第9章 広報・協賛計画

4. 協賛

第44回全国育樹祭を北海道が一丸となり、より実り多き大会とするため、開催方針に賛同する企業や団体、個人を対象に、実行委員会等に対する物品、役務及び金銭の提供、広報・PRへの協力等による協賛を募集します。

(1) 物品提供

- ・式典会場等に設置するステージ等仮設物に利用する木材、木製品、式典等参加者に配布する飲料等の物品 等

(2) 役務提供

- ・育樹等行事の会場整備
- ・式典会場等への資機材運搬、設置、撤去
- ・会場内の案内・誘導 等

(3) 金銭提供

- ・式典会場等に設置する飾り花や木製プランターカバーの製作資金
- ・参加者に配布する木製品等の記念品購入費
- ・大会開催前後に実施する関連イベント等の開催経費 等

(4) 広報協力

- ・全国育樹祭行事、併催行事及び記念行事開催ポスターの掲示
- ・行事開催特集記事の掲載 等

第10章

開催準備計画

第44回
全国育樹祭 北海道
2020



第10章 開催準備計画

1. 開催スケジュール

令和元年度（2019年度）にはプレイベントの開催や会場整備を行い、令和2年度（2020年度）には実施計画の策定やリハーサルを行うなど計画的に準備を進めていきます。

年度	月	大会開催計画	リハーサル等	会場関係	
令和元年度	10月	1年前キックオフイベント 「国民参加の森林づくりシンポジウム」			
	11月	開催日程の決定・公表			
	12月				
	1月				
	2月				
	3月				
令和2年度	4月	実施計画決定			
	5月				
	6月	一般参加者募集 大会実施本部の設置			
	7月				
	8月				
	9月		式典リハーサル 総合リハーサル		
	10月	併催行事・記念行事	前日リハーサル		
	10月	第44回全国育樹祭 開催			
	11月				
	12月				
	1月				
	2月	記録誌の発行			
3月					

第44回全国育樹祭実施計画

令和2年(2020年)4月発行

編集・発行 : 第44回全国育樹祭北海道実行委員会
札幌市中央区北3条西6丁目(全国育樹祭推進室内)

連絡先 : 北海道水産林務部森林環境局全国育樹祭推進室
011-206-6563(ダイヤルイン)